

令和 7 年 度
病 院 事 業 会 計 決 算 説 明 資 料

1	県立 3 病院の概要	2
2	令和 7 年度事業概況	3

1 県立3病院の概要

(令和8年9月1日現在)

病院名	中央病院		こころの医療センター		こども病院	
所在地	笠間市鯉淵6528		笠間市旭町654		水戸市双葉台3丁目3番地の1	
沿革	昭和31年1月	茨城県立友部療養所開設	昭和25年5月	茨城県立内原精神病院開設	昭和60年4月	茨城県立こども病院開設
	32年10月	茨城県立中央病院と改称	35年8月	茨城県立友部病院開設	63年3月	無菌室完成(22.6㎡) 骨髄移植開始
	36年10月	産婦人科外7科開設し総合病院となる	50年12月	デイ・ケアセンター竣工	平成2年8月	臨床研修病院の指定
	52年3月	救急告示病院に指定	61年3月	レクリエーションセンター竣工	7年9月	増床工事完了
	61年8月	改築工事着工 63年6月新病院開設	平成元年10月	応急入院指定病院に指定	9年4月	100床稼働
	平成5年4月	臨床研修病院に指定	7年8月	訪問学級開始(友部東養護学校)	10年6月	臍帯血移植開始
	7年4月	地域がんセンター開設	8年10月	精神科救急業務開始(休日・昼間)	10年6月	心臓血管外科開設
	9年1月	災害拠点病院に指定	14年7月	児童思春期病棟開設	11年8月	ファミリーハウス運営開始
	9年4月	500床稼働	16年3月	精神科救急(平日夜間)開始	16年8月	小児救急業務開始
	9年6月	臓器移植法による臓器提供施設に該当	17年7月	医療観察法による鑑定入院医療機関及び	18年4月	恩賜財団済生会へ指定管理業務委託
	11年12月	難病医療拠点病院の指定		通院医療機関の指定	18年4月	発達障害外来開設
	18年3月	PET/CT稼働開始	19年4月	警察官通報に基づく自傷他害の恐れのある	19年4月	成育在宅支援室設置
	19年1月	相談支援センター開設		精神障害者の24時間365日措置入院対応開始	20年4月	予防接種センター開設
	20年2月	都道府県がん診療連携拠点病院の指定	20年8月	精神科救急入院料(スーパー救急)の取得	21年5月	GCU増床(24→27床)、108床稼働
	20年12月	化学療法センター、透析センター開設	21年8月	新病院新築工事着工	22年5月	ファミリーハウス新築棟運用開始
	21年4月	放射線検査センター開設、DPC導入	23年4月	福祉連携サービス部設置	22年6月	増築棟運用開始
	21年8月	7:1看護基準取得		アウトリーチ(訪問支援)活動の開始	22年7月	脳神経外科手術の本格開始
	22年3月	電子カルテシステム運用開始	23年10月	新病院開院、医療観察法病棟稼働開始、	22年11月	NICU増床(12→15床)
	23年2月	救急センター開設		電子カルテシステム運用開始	23年2月	電子カルテシステム運用開始
	23年4月	循環器センター開設、ヘリポート稼働開始	24年10月	精神科ネットワーク医療連携の取組み開始	23年10月	115床稼働
	23年5月	地域医療支援病院の承認	26年8月	精神科救急病棟スーパー救急の拡充(45→85床)	25年10月	リハビリテーション外来の開始
	25年5月	緩和ケア病棟の開設	27年4月	茨城県睡眠医療センター開設	26年1月	病院内共用スペースリニューアル工事の開始
	25年8月	強度変調放射線治療(IMRT)の開始	28年12月	茨城県立睡眠医療クリニックを水戸市大工町に開設、	28年1月	工事完成
	25年9月	ダヴィンチ手術の開始		29年1月診療開始	29年4月	専門研修プログラム基幹施設の認定(小児科)
	28年10月	助産施設に位置付け	30年4月	専門研修プログラム基幹施設の認定(精神科)	30年1月	病床再編(NICU15→18床、GCU24→18床、
	29年4月	歯科口腔外科開設	令和3年3月	災害拠点精神科病院の指定		2階病棟76→79床)
	30年1月	研修棟開所	4年3月	茨城県立睡眠医療クリニックを廃止	30年12月	ICU病棟(6床)整備
	30年4月	専門研修プログラム基幹施設の認定(内科、外科)			31年4月	小児整形外科開設
	30年10月	がんゲノム医療連携病院の指定			令和1年11月	小児がん連携病院指定
	令和2年12月	新型コロナウイルス感染症対応発熱外来棟(仮設)設置			2年11月	地域医療支援病院の承認
					3年4月	遺伝子診療・相談センター開設
病院の機能	本県の中核的な総合病院として、がん医療、救急医療などをはじめとする高度・専門・特殊な医療提供を行う。		本県の精神科医療の基幹病院として精神科救急医療や児童・思春期医療などの専門的な医療提供を行う。		本県の小児医療の中核的な専門病院として、重篤・難治な患者を対象に、高度かつ専門的な医療提供を行う。	
病床数及び職員数	病床数 500床 職員数 1,360名(R8.3.31現在)		病床数 276床 職員数 333名(R8.3.31現在)		病床数 115床 職員数 296名(R8.3.31現在)	
診療科目	【36診療科】 内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、循環器外科、血管外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科、脳神経外科、麻酔科、精神科、リウマチ科、歯科口腔外科		【4診療科】 精神科、児童精神科、心療内科、神経内科		【19診療科】 小児内科、新生児内科、小児血液腫瘍内科、小児循環器内科、小児神経心療内科、小児内分泌・代謝内科、小児感染症内科、小児腎臓内科、小児アレルギー科、小児救急科、小児外科、新生児外科、小児泌尿器科、小児脳神経外科、心臓血管外科、小児形成外科、小児整形外科、麻酔科、放射線科	

2 令和7年度事業概況

中 央 病 院	こ こ ろ の 医 療 セ ン タ ー	こ ど も 病 院
1 実績 (1) 患者数 入 院： 1日平均361人 外 来： 1日平均906人 (2) 患者1人当たりの診療単価 入 院： 79,554円 外 来： 29,119円 2 収益的収支の状況※1 収 入： 20,436百万円 支 出： 21,888百万円 差 引： △1,452百万円 3 資本的収支の状況※1 収 入： 788百万円 支 出： 1,376百万円 差 引： △588百万円 (参考) 繰入金の状況 医 療 分※3： 2,418百万円 教 育・研 修 事 業 分※4： 412百万円 合 計： 2,830百万円	1 実績 (1) 患者数 入 院： 1日平均188人 外 来： 1日平均286人 (2) 患者1人当たりの診療単価 入 院： 28,543円 外 来： 7,571円 2 収益的収支の状況※1 収 入： 4,004百万円 支 出： 4,212百万円 差 引： △208百万円 3 資本的収支の状況※1 収 入： 192百万円 支 出： 300百万円 差 引： △108百万円 (参考) 繰入金の状況 医 療 分※3： 1,234百万円 教 育・研 修 事 業 分※4： 71百万円 合 計： 1,305百万円	1 実績 (1) 患者数 入 院： 1日平均 98人 外 来： 1日平均196人 (2) 患者1人当たりの診療単価 入 院： 100,034円 外 来： 24,063円 2 収益的収支の状況※1、※2 収 入： 1,538百万円 (6,438百万円) 支 出： 1,638百万円 (6,538百万円) 差 引： △100百万円 (△100百万円) 3 資本的収支の状況※1 収 入： 345百万円 支 出： 473百万円 差 引： △128百万円 (参考) 繰入金の状況 医 療 分※3： 1,375百万円 教 育・研 修 事 業 分※4： 67百万円 合 計： 1,442百万円

※1：収益的収支及び資本的収支の状況については、税抜きで作成したもの。

※2：()内の数値は、こども病院の病院全体の状況を表すため、県及び指定管理の数値を合算したもの。

※3：救急医療、精神、小児など政策医療の提供に要する経費、建物等の償還金のうち国の繰出基準に該当する経費、病院局設置前の一般会計在職期間等に係る退職給与金などに対する繰入金。

※4：研修医の指導医人件費など、医療人材の教育や研修に要する経費に対する繰入金。